

野川自然の会の活動 2009



田植え前のとんぼたんぼ（5月）

野川第一・第二調節池での自然再生事業が進むにつれて、いろいろな種類の水辺や緑が増えていきます。
環境の変化はいろいろな生きものも招き入れると期待されます。
その変化を調べたり、よりよい環境が維持されるように努めたりしている「野川自然の会」はどなたでも会員になれます。
又、主催するイベントには会員でなくても、どなたでも参加できます。

田植え（5月）

稲刈りのあとも耕さず、水をたたえた田んぼでは、稲わらやもみガラ、古い株などが、微生物やイトミミズなどの小さな生き物のエサになります。その小さな生き物はもう少し大きな生きもののエサになります。そのような豊かな命のつながりを望んで、田んぼを作りました。



田んぼの手入れ

イトミミズの糞などで作られるトトロの土の層は雑草の発芽を抑えます。耕さず、草取りの手間もないので、通常の田んぼよりも手入れは楽です。

それでも、カモが倒した苗をなおしたり、水位を調節したり、崩れた畦や水路を直したりします。稲にとって困った虫が大量に発生すると、手で取ります。



秋の稔りとかかし（8月、9月）

稲に悪さをする虫もいますが、ハチヤクモ、トンボ、ツバメなどそれを食べる生きものもいます。かかしはスズメに遠慮してもらうとともに田んぼがここにあることを人々に伝えるのも仕事です。



稲刈り（9月）

メダカやヤゴなど生きもののために水を残して稲を刈ります。足元が不安定なので真剣に鎌を使います。



はさかけ

刈り取った稲を自然に乾かすために稲架（はさ）にかけて干します。最後まで、一生懸命はたらきました。

脱穀（10月）

稲の穂から実った粉をとりはずすことを脱穀といいます。古い足踏み式脱穀機を使い交代でがんばりました。





唐箕（10月）

脱穀した粳(もみ)を唐箕(とうみ)で選別しました。これも昔の道具です。ハンドルをまわして風の力で実った粳とできの悪い粳やゴミをより分けます。

収穫祭（11月）

おいしいおむすびができました。お萩は古代米を使いました。田植えから半年間手伝ってくれたご家族もうれしそうです。



一升びんで玄米をついたり（精米）、稲わらで縄をなう体験、身近な自然についてのクイズ、音楽などを楽しみました。

みなさんありがとう！



野鳥モニタリング



毎月（第2土曜日に）自然再生地区の調査をしています。
07年度33種、08年度36種、09年度33種の野鳥が記録
されました。



ため池のアオサギ

田んぼのカワセミ



子育て中のカルガモ



水生生物モニタリング

3ヶ月に一度、年4回実施。野川や田んぼ・どじょう池・湧水
側溝などの、水生生物を調べています。



ヨシノボリ

コオニヤンマのやご



昆虫モニタリング

5～11月のあいだ毎月トンボ類のセンサス調査を中心に行いました。
アカトンボの動向に特に注目しています。



ショウリョウバッタモドキ

オギなど背の高いイネ科植物の繁茂する湿った土地に住む、野川流域では珍しいバッタ

マユタテアカネ

顔の真ん中に、ふたつの黒点が。これを眉に見立てたのが名前の由来のようです

ミヤマアカネ

この2,3年、野川でも繁殖するようになりました。



植物モニタリング

年4回調査しています。
田んぼや湿地を好む植物が増えてきたようです。
都内では貴重なミゾコウジュやカントウヨメナ、ナンバンギセルなども見られます。
調査のほかに春の野草クッキングなども楽しみました。



ミゾコウジュ



ナンバンギセル



水モニタリング

自然再生の要は水です。
毎月、水量、水質、水温などを調査しています。
自然再生地区に流れる野川と湧水を調べて、
活動計画に反映させる予定です。



植物の移植

湿地に野川から植物を移植して、
生物多様性の復元を図っています。



外来植物除去

特定外来生物に指定されたアレチウリなどの
抜き取りをしています。



自然再生地区の清掃



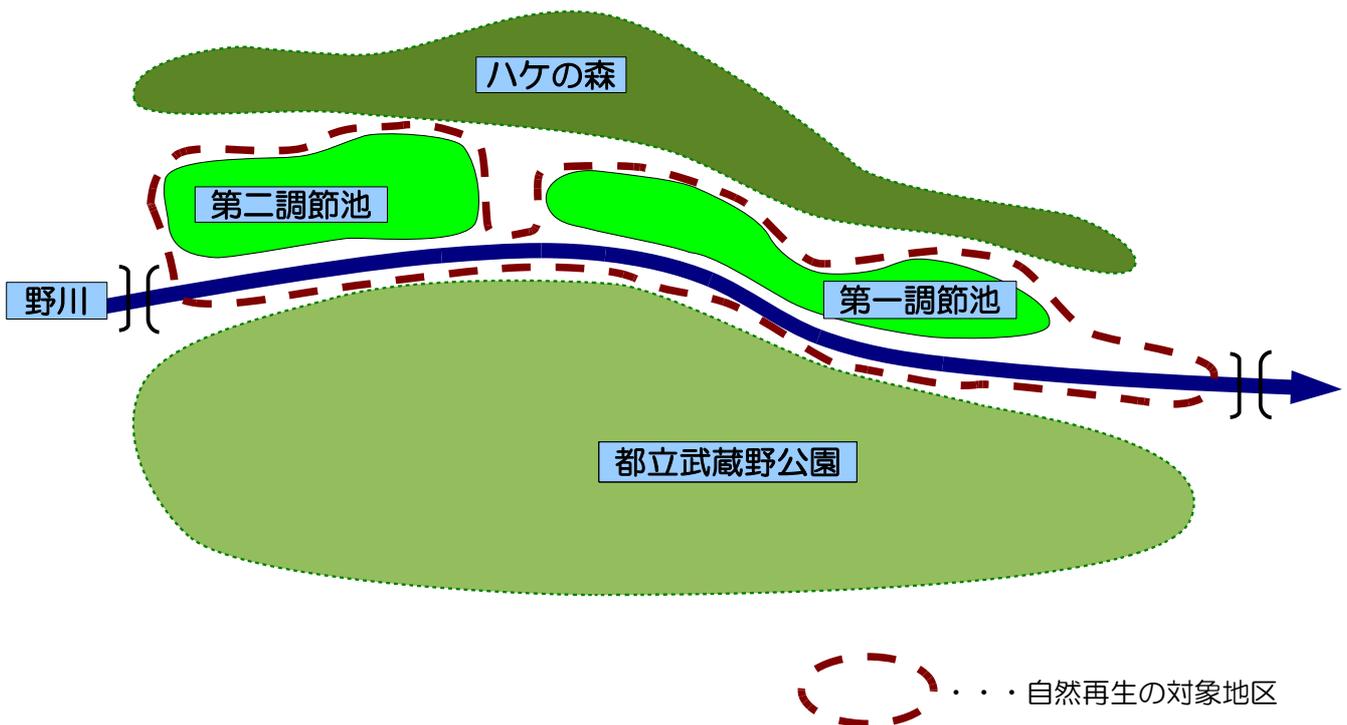
自然再生とは、

過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的として、行政機関、地方公共団体、地域住民、NPO、専門家等の多様な主体が参加して、自然環境を保全し、再生し、創出し、その状態を維持管理することです。

そのために整備された法律が自然再生推進法です。

野川には、洪水を防ぐ目的で調節池が設置されています。この調節池を治水機能を確保しながら、かつて周辺地域に存在した「水のある農の風景」を基本とする、豊かな自然環境を再生していきます。

野川自然の会とは、野川第一第二調節池地区自然再生事業について、その実施事業者である東京都との維持管理に関する覚書に基づいて、維持管理や、自然とのふれあいイベントを行うボランティアの市民団体です。



野川自然の会の連絡先

メールアドレス nogawanature@yahoo.co.jp

ホームページのURL <http://outdoor.geocities.jp/nogawanature/>

(この報告書はさくらファンドによる助成金で作成しました。)

2010年3月30日発行